

地域遺産 価値共有し観光資源に

小樽商科大は7日、北海道経済学会と共催で「地域遺産の観光資源化」をテーマに札幌市でシンポジウムを開く。道内で見過ごされている地域遺産をどう再発見し、その価値を共有するかについて話し合う。

江差町教委の宮原浩さんが「江差町のまちづくりと日本遺産」、小樽市総合博物館長の石川直章さんが「魅せる文化財・見せる文化財 小樽の場合」について基調講

小樽商科大・道経済学会

札幌で7日シンポ

演ずる。この後、地域経済活性化支援機構の近藤真弘さん、小樽商科大学研究員の高野宏康さんが加わり、パネルディスカッションもある。

シンポは午後2時10分から、同大札幌サテライト大講義室（札幌市中央区北5条西5丁目のSaporo 55ビル3階）。5日までに電話（0134・27・5482）で申し込む。

（佐久間泰雄）